



平成 19 年 5 月 22 日

各 位

会社名 エスフーズ株式会社
 代表者 代表取締役社長 村上 真之助
 (コード番号 2292 東証・大証第一部)
 問合せ先 専務取締役
 経営管理本部長
 富 沢 進
 (TEL. 0798-43-1065)

(訂正)平成 19 年 2 月期決算短信(連結)及び個別財務諸表の概要の一部訂正について

平成 19 年 4 月 19 日に発表しました表記開示資料に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。訂正の理由は、有価証券報告書作成のための精査により判明した誤りを訂正するものであり、各訂正内容に各々の訂正理由を付しております。

記

(以下、訂正箇所は下線_____で表示してあります。)

訂正内容

1. 「有価証券関係」(29ページ)当連結会計年度「1 その他有価証券で時価のあるもの」の内訳の金額

<訂正前>

区分	取得原価 (千円)	連結決算日における連結 貸借対照表計上額(千円)	差額 (千円)
連結貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの			
(1) 株式	684,854	<u>1,052,307</u>	817,452
(2) 債券	<u>141,545</u>	<u>160,904</u>	<u>19,358</u>
(3) その他	<u>334,947</u>	<u>369,264</u>	<u>34,317</u>
小 計	1,161,347	2,032,476	871,128

<訂正後>

区分	取得原価 (千円)	連結決算日における連結 貸借対照表計上額(千円)	差額 (千円)
連結貸借対照表計上額が取得原価 を超えるもの			
(1) 株式	684,854	<u>1,502,307</u>	817,452
(2) 債券	<u>187,935</u>	<u>213,804</u>	<u>25,868</u>
(3) その他	<u>288,557</u>	<u>316,364</u>	<u>27,807</u>
小 計	1,161,347	2,032,476	871,128

<訂正理由> (1)株式の表示額を誤記、また(2)債券と(3)その他との区分額に一部入り繰りがあったため訂正するものであります。

2. 「有価証券関係」(29ページ)当連結会計年度の「4 その他有価証券のうち満期があるものの連結決算日における償還予定額」の内訳の金額

< 訂正前 >

区分	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)
(1) 債券			
国債・地方債			
社債	92,299	91,218	68,604
その他		—	
(2) その他			
合計	92,299	91,218	68,604

< 訂正後 >

区分	1年以内 (千円)	1年超5年以内 (千円)	5年超10年以内 (千円)
(1) 債券			
国債・地方債			
社債	92,299	91,218	68,604
その他		52,900	
(2) その他			
合計	92,299	144,118	68,604

< 訂正理由 > 前記1の訂正により(1)債券 その他の償還予定額を訂正するものであります。

3. 「退職給付関係」(32ページ)の当連結会計年度欄の「3 退職給付費用に関する事項」の記載内容

< 訂正前 > 当連結会計年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)	< 訂正後 > 当連結会計年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)
<p>3 退職給付費用に関する事項</p> <p>退職給付費用 <u>102,386千円</u></p> <p>(1) 勤務費用 <u>89,933千円</u></p> <p>(2) 利息費用 11,517千円</p> <p>(3) 期待運用収益(減算) 2,065千円</p> <p>(4) 数理計算上差異の費用処理額 3,001千円</p> <p>(注) 簡便法を採用している国内連結子会社の退職給付費用は、「(1) 勤務費用」に計上していません。</p>	<p>3 退職給付費用に関する事項</p> <p>退職給付費用 <u>127,390千円</u></p> <p>(1) 勤務費用 <u>89,214千円</u></p> <p>(2) 利息費用 11,517千円</p> <p>(3) 期待運用収益(減算) 2,065千円</p> <p>(4) <u>会計基準変更時</u> <u>差異の費用処理額(減算)</u> <u>898千円</u></p> <p>(5) 数理計算上差異の費用処理額 3,001千円</p> <p>(6) <u>確定拠出年金に係る</u> <u>要拠出額</u> <u>26,621千円</u></p> <p>(注) 簡便法を採用している国内連結子会社の退職給付費用は、「(1) 勤務費用」に計上していません。</p>

< 訂正理由 > 項目の脱漏及び一部表示金額の誤りを訂正し、またこれらの訂正に伴い訂正前(4)の項目番号を(5)に修正するものであります。

4. 「1 財務諸表等 財務諸表 損益計算書」(48ページ)の当事業年度欄 「売上原価」の内訳の金額

<訂正前>

区分	前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)		当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)		比較増減	
	金額(千円)	百分比	金額(千円)	百分比	金額(千円)	
売上原価		%		%		
1 期首製品たな卸高	697,240		1,157,444		460,203	
2 合併による受入高	137,572				137,572	
3 当期製品製造原価	30,968,851		<u>33,125,523</u>		<u>2,156,671</u>	
4 当期外注製品仕入高	598,692		<u>814,401</u>		<u>215,709</u>	
合計	32,402,357		35,097,368		2,695,011	

<訂正後>

区分	前事業年度 (自 平成17年3月1日 至 平成18年2月28日)		当事業年度 (自 平成18年3月1日 至 平成19年2月28日)		比較増減	
	金額(千円)	百分比	金額(千円)	百分比	金額(千円)	
売上原価		%		%		
1 期首製品たな卸高	697,240		1,157,444		460,203	
2 合併による受入高	137,572				137,572	
3 当期製品製造原価	30,968,851		<u>33,252,300</u>		<u>2,283,448</u>	
4 当期外注製品仕入高	598,692		<u>687,623</u>		<u>88,931</u>	
合計	32,402,357		35,097,368		2,695,011	

<訂正理由> 当期製品製造原価と当期外注製品仕入高との区分額に一部入り繰りがあったため訂正するものであります。

以 上